

都市再生整備計画(第7回変更)

きしわ だじょうしゅうへん
岸和田城周辺地区

おおさかふ きしわ だし
大阪府 岸和田市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	岸和田市	地区名	岸和田城周辺地区	面積	76 ha
計画期間	平成22年度～平成25年度	交付期間	平成22年度～平成25年度				

目標
＜大目標＞
地域資源を磨き、つなぎ、内外に広く発信しながら地域に暮らす人々と来訪者が交流する賑わいのあるまちづくり。
＜目標①＞ 来訪者の増加によるにぎわいあるまちづくりの促進。
＜目標②＞ 地域の人々と来訪者の交流による地域活性化の促進。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
- 岸和田は、かつて岡部公5万3千石の城下町として栄え、明治中期以降は泉州綿織物を主とする紡績工業都市として発展してきた。 - 今日では、“だんじり祭のまち”というイメージが浸透している。 - 一方で、岸和田城周辺地区には、紀州街道や本町の町並みなどの歴史的景観、贅を尽くして築かれた「五風荘」、スパニッシュ様式の「自泉会館」や旧銀行の近代建築物など、往時の繁栄を現在に伝える地域資源とともに、「祭り」を心ゆくまで体感できる「だんじり会館」、そして「岸和田城」などの施設が集積する。（他大阪ミュージアム登録物多数。） - これら豊富な「地域資源」を「観光資源」として発信していくには、来訪者を迎える施設や仕組み、そして点を面につなげる取り組みが必要である。 - そこで、こうした“環境”を整え、内外に発信することにより来訪者の増加を図るとともに、エリア内を縦横に走る商店街や市民による賑わいイベントの開催などによって地域の活性化を実現していきたい。 - さらに、訪れる人々と市民とのふれあいを通じ、交流が大きく発展していくことを期待している。
課題
“だんじり祭のまち”というイメージばかりが浸透し、城周辺の歴史と伝統あふれた豊かな地域資源が十分に知られていない。 - 豊かな地域資源をつなげる仕組みが十分でなく、まち歩きが楽しめる環境となっていない。
将来ビジョン（中長期）
- 本市「第3次岸和田市総合計画」では、市民との協働によって自然・歴史・文化を守り、さらに個性とエネルギーにあふれた人と地域が豊かに育まれるまちを目指している。 - 本プランの実施は、これに掲げる「歴史・文化観光の充実における岸和田城周辺の拠点的な整備」と、これを受けた「岸和田市観光振興計画」（19年度策定）を推進していく上で、施策のスピードアップを図るものとなる。 「観光拠点」などの整備や「ボランティアガイド」の育成・充実は、本地区を観光の中心として、継続して支えていく“装置”となる。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度		目標年度	
岸和田城の入場者数	人	岸和田城を訪れる観光客数	来訪者の増加の指標として、岸和田城へを訪れる観光客数とする。	32,381	H20年度	35,500	H25年度
まちづくりの館の利用者数	人	紀州街道本町の「まちづくりの館」の利用者数	まち歩き観光促進の指標として、まち歩きのメインルートにある「まちづくりの館」に立ち寄る利用者数とする。	11,532	H20年度	13,300	H25年度
ボランティアガイドの登録者数	人	ボランティアガイドの登録者数	地域活性化の指標として、ボランティアガイドの登録者数とする。	30	H20年度	40	H25年度

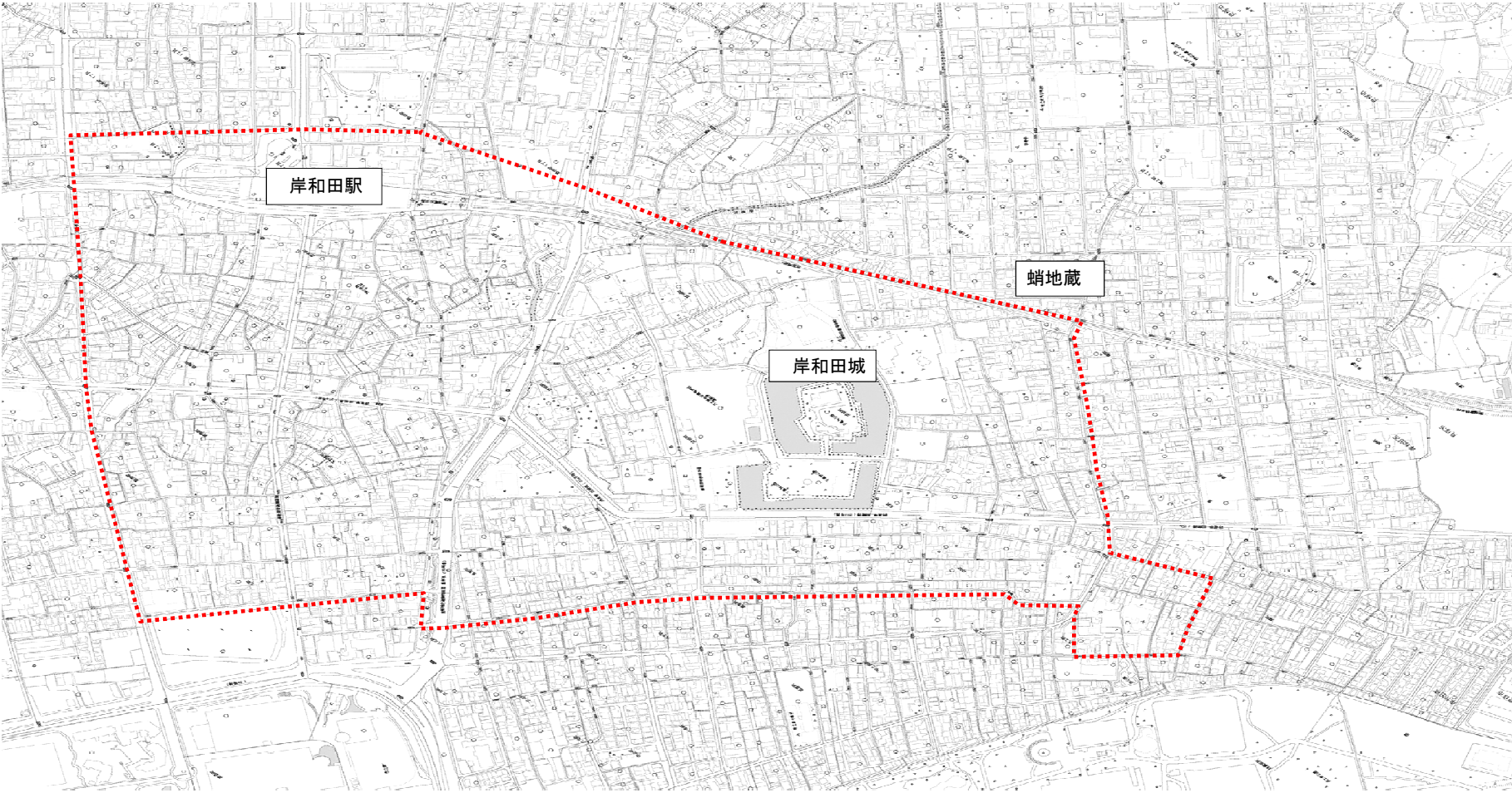
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1（来訪者の増加によるにぎわいあるまちづくりの促進。） ・二の丸公園観光交流センターの整備や城堀端の憩いのゾーン整備などを通じ、来訪者を暖かくもてなすための環境整備を行う。		地域生活基盤施設（基幹事業／観光案内板整備事業） 地域生活基盤施設（関連事業／観光情報解説板整備事業） 地域生活基盤施設（関連事業／展望ポケットパーク整備事業） 高質空間形成施設（基幹事業／憩いのゾーン整備事業） 高質空間形成施設（基幹事業／櫓門前の石畳化整備事業） 高質空間形成施設（基幹事業／岸城5号線（五風荘前）景観整備事業） 高質空間形成施設（基幹事業／二の丸広場整備事業） 高質空間形成施設（関連事業／寺町筋の景観舗装整備事業） 高次都市施設（基幹事業／二の丸広場観光交流センター整備事業） 地域創造支援事業（提案事業／二の丸広場観光交流センター整備事業） 高次都市施設（基幹事業／観光案内所設置事業） 高質空間形成施設（基幹事業／本丸広場整備事業） 地域創造支援事業（関連事業／堺阪南線歩道ライトアップ整備事業） 事業活用調査（提案事業／事業効果分析事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／まち歩き観光PR活動事業） 高質空間形成施設（基幹事業／五風荘前歴史発信憩いのゾーン形成事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／二の丸広場観光交流センター賑わいづくり事業）
	整備方針2（地域の人々と来訪者の交流による地域活性化の促進。） ・ボランティアガイドの育成充実や活動拠点の整備、地域の商店街等による観光情報発信拠点の整備など、来訪者と地域の人々との交流機会の増加を図り、地域の活性化をめざす	高質空間形成施設（基幹事業／二の丸広場整備事業） 高次都市施設（基幹事業／観光案内所設置事業） 高次都市施設（基幹事業／二の丸広場観光交流センター整備事業） 地域創造支援事業（提案事業／二の丸広場観光交流センター整備事業） 事業活用調査（提案事業／事業効果分析事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／観光ボランティアガイド育成支援事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／観光とまちづくりの総合プロデュース事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／まち歩き観光PR活動事業） まちづくり活動推進事業（提案事業／二の丸広場観光交流センター賑わいづくり事業）
	・	
その他		

都市再生整備計画の区域

岸和田城周辺地区(大阪府岸和田市)	面積	76 ha	区域	宮本町、五軒屋町、筋海町、堺町、本町、中町、岸城町の全部及び沼町1番～15番、35番、北町1番～11番、12番の一部、14番から16番、魚屋町1番～3番、大工町5番～6番、南町32番～33番、42番～43番、別所町1丁目的一部、野田町1丁目の一部、上町の一部
-------------------	----	-------	----	---

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



岸和田城周辺地区(大阪府岸和田市) 整備方針概要図

目標	<目標①> 観光拠点やまちなみなどを整備することで来訪者の増加を図る。	代表的な指標	岸和田城の入場者数 (人)	32,381	(20年度)	→	35,500	(25年度)
	<目標②> ボランティアガイドの充実など、地域の人々と来訪者が交流することで地域の活性化を図る。		まちづくりの館の利用者数 (人)	11,532	(20年度)	→	13,300	(25年度)
			ボランティアガイドの登録者数 (人)	30	(20年度)	→	40	(25年度)

